

報告第7号

株式会社パブリックサービスの経営状況の報告について

株式会社パブリックサービスの経営状況は、別添のとおりであるので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により報告する。

令和6年9月3日提出

逗子市長 桐ヶ谷 寛

経 営 状 況

第33期事業年度 事業報告
自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

第34期事業年度 事業計画
自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

株式会社 パブリックサービス

目次

ページ

1	第 33 期事業報告	
	I 事業の概況	
	1 事業の経過および成果	
	(1) 当事業年度の概要	1-2
	(2) 安全第一と顧客サービス向上について	2
	(3) 高齢者雇用について	3
	(4) 損益の状況	3-6
	第 33 期 事業実績に関する事項	7
	(5) 事業損益の推移(6 期分)	8
	(6) 財政の状況	9
	(7) 新事業開発の使用実績	9
	(8) 市民貢献事業の使用実績	9
	2 業務運営事項	10
	3 会社に対処すべき課題	10
	II 会社の概況	
	1 会社概要	10
	2 株式の状況	11
	3 取締役および監査役	11
	III 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実	11
	IV 業務の適正を確保するための体制の運用状況(参考)	11
	(表)事業一覧	12
2	第 33 期貸借対照表	13
3	第 33 期損益計算書	14
4	第 33 期株主資本等変動計算書	15
5	附属明細書 : 財産目録	16
	注記表	17
6	監査報告書	18
7	第 34 期事業計画	19-21
	添付書類: 第 34 期予算損益計算書	22

第 33 期 事業報告

(令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで)

株式会社パブリックサービス
代表取締役 稲垣 正

I. 事業の概況

1. 事業の経過および成果

(1) 当事業年度の概要

① 全体

当事業年度（以下、「当期」という）は令和 5 年 5 月に新型コロナウイルスが感染症 2 類から 5 類に分類変更されましたが人々の行動に大きな変化は見られずコロナ以前の社会経済状態に戻っていません。当社は引き続き感染対策を講じて業務の安全を期しています。ロシアのウクライナ侵攻は未だ終結せず、さらにイスラエルとパレスチナの紛争が勃発し世界情勢は混沌としております。日本は円安が進みエネルギー価格および輸入産品を中心に国内物価が上昇して実質賃金は目減りしています。当社においても諸物価の値上りで業務運営コスト増額に繋がりました。

② 事業別概況

【受託事業（逗子市）】

- ・福祉バス運行業務では市役所本庁舎から逗子アリーナ（第一運動公園）を經由し高齢者センターに至る運行ルートが定着しており、コロナ 5 類移行後は利用者の増加が見られました。
- ・街区公園・ハイキングコース管理業務では特に夏季の酷暑を克服し年間を通し業務を遂行しました。
- ・登下校児童交通整理は小坪小、久木小の 2 校で登下校の交通安全を確保、業務を遂行しました。
- ・学校開放業務は久木小学校一校のみの履行です。
- ・容器包装プラスチック選別は葉山町容プラゴミ収集併合 4 年目に入り順調に遂行しました。
- ・池子の森自然公園緑地エリア管理業務を新規受託、良好なチームワークで順調に任務を遂行しました。
- ・当期に警備業認可を初めて取得し、後に市内小学校水泳学習送迎マイクロバス交通誘導業務（文化プラザエリア内）を初受注しました。引き続き研鑽を積んでまいり所存です。
- ・その他逗子市からの受託業務は順調に遂行しました。

【受託事業（民間）】

- ・市内駐輪駐車場（清水橋南・清水橋北・JR 逗子駅西・JR 逗子駅東）は令和 4 年 10 月に逗子市から公益財団法人自転車駐車場整備センターに経営主体が移管され、当期に大規模改修および駐輪場設備の機械化が行われ、利用者自らが定期発行機あるいは一時精算機で金銭決済を行えるようになりました。自動機械が導入され当社管理員の配置人数は令和 5 年 10 月以降は減員となりました。

【指定管理事業（逗子市）】

- ・当期は指定管理Ⅱ期 4 年目でコロナ禍の影響が軽減した状況下で運営を遂行できました。市民交流センター利用状況はコロナ禍以前の 2019 年度に及ばなかったものの多くの利用がありました。
- ・市民の自主的な活動は前年度より活発で市民活動スペースの利用者数は前年度比 1.25 倍延べ 14,980 人、利用団体数は 1.4 倍延べ 4,459 団体でした。増加要因は市民活動全般の活発化で小規模グループの利用が一段と増加したものと思われ、逗子市の活性化につながる事象であると申せ

ます。

- ・利用者アンケート調査（251 人回答）では施設満足度を表す DI 値（Diffusion Index）は全項目プラスでした。回答は多岐にわたり、現状肯定、改善要望、激励の言葉などがありました。
- ・当社は市民交流センターの役割、意義を改めて認識し市民の自主活動の促進を進めてまいります。

【自主事業】

- ・ガーデンケア（個人宅の草刈り樹木剪定）は 4 年振りに料金の改定を行い、人件費および諸経費の上昇に対策を講じました。
- ・市内医療機関向け業務では期初にコロナ発熱外来関連のスポット業務を受注。既存業務では医療機関の業務内製化により一部の業務が終了しましたが引き続き、清掃業務および当直業務は継続しております。
- ・ホーム&ビジネス業務では人材派遣業務（市内スーパーほか）および委託、請負業務が安定的に推移しています。集合住宅の外周整備、空き家管理業務は受注が少しずつ増加しております。
- ・市内私立学校の登校時生徒見守り・パソコン関連業務および施設清掃業務を遂行しております。
- ・市内特別養護老人ホームの宿直業務も滞りなく遂行しました。

（※）7 ページ、12 ページに「事業一覧」を掲載しています。

【市民貢献事業】

「空き家登録活用支援事業」、「ネットボックス等購入費補助金交付事業」は逗子市の施策を補完かつ強化するもので市の所管部門と連携して実施いたしました。

（2） 安全第一と顧客サービス向上について

「安全第一」と「顧客サービス向上」は当社の事業を遂行する上で車の両輪にあたり、全職場共通の重点項目として注力してまいりました。お客様と接触のある職場ではコロナ感染拡大防止対策を引き続き実施しております。

① 安全第一の徹底

- ・社長、本社幹部は全職場の主任、副主任と連係して安全衛生管理の確認を実施しています。
- ・年 3 回実施の主任会議および年 2 回実施の拡大衛生委員会・月例衛生委員会を実施しています。
- ・社長、本社幹部が主要職場を巡回する年 2 回実施の安全パトロールでは指摘事項等を提示して PDCA を回し課題の改善に努めております。
- ・指差呼称は各職場で励行しています。
- ・新型コロナウイルス感染症は 5 類になりましたが引き続き対策を講じています。
- ・自然災害（地震・台風・大雨等）への対応は当事者間の連絡網の更新を適宜行っています。
- ・安全衛生対策の実効性を高めるため安全衛生引当金を有効に使用しています。

② 顧客サービス向上

- ・当社が管理運営する諸施設の利用者である市民、業務の委託者である逗子市役所ならびに民間企業には満足頂けるよう日々研鑽を重ねてまいります。
- ・社員向けにマナー接遇研修、コンプライアンスおよびハラスメント知識の習得。派遣社員にはスキルアップ研修等を実施。警備員に対しては所定の法定研修を実施しています。

(3) 高齢者雇用について

① 健康管理

- ・新型コロナウイルス等に感染した時は上長および本社幹部・社長に速やかに連絡を入れることを義務化しています。
- ・高齢者が多数を占める当社では毎年の健康診断受診を雇用継続条件にしており一人一人の健診結果については記録保存して健康管理に役立てています。
- ・予防接種等については接種を受けることを推奨しています。

② 社員統計

当期末の社員総数は前年度末比 4 名増加の 130 名、内女性 は 3 名増の 22 名です。全社の平均年齢は 68.9 歳（前年度より+0.1 歳）でした。内訳は「第一事業部」70.6 歳。「第二事業部（市民交流センター）」55.9 歳です。【表 1】をご参照ください。

【表 1】

○雇用者統計：受託事業・指定管理・自主事業（ホーム&ビジネスの請負を除く）。
（単位：人）

事業年度（期末日）	社員総数	内訳			
		60 歳以上男性	60 歳以上女性	60 歳未満男性	60 歳未満女性
29 期（令和 2 年 3 月末）	130	113	7	2	8
30 期（令和 3 年 3 月末）	128	109	11	2	6
31 期（令和 4 年 3 月末）	126	106	12	2	6
32 期（令和 5 年 3 月末）	126	105	13	2	6
33 期（令和 6 年 3 月末）	130	105	15	3	7

（注）市民交流センター職員については、採用時の年齢制限を設けておりません。新規受注の池子の森自然公園緑地エリア管理職員に 60 歳未満の職員が 2 名含まれています。

○登録者統計：ホーム&ビジネス請負業務。（単位：人）

事業年度（期末日）	登録者数	内訳			
		60 歳以上男性	60 歳以上女性	60 歳未満男性	60 歳未満女性
29 期（令和 2 年 3 月末）	6	1	5	0	0
30 期（令和 3 年 3 月末）	7	1	6	0	0
31 期（令和 4 年 3 月末）	6	3	3	0	0
32 期（令和 5 年 3 月末）	5	2	3	0	0
33 期（令和 6 年 3 月末）	8	4	4	0	0

※33 期：登録 8 名中、4 名（男性 2 名、女性 2 名）は当社社員兼任です。

(4) 損益の状況

① 第 33 期実績（6 ページ、【表 2】を参照ください。

売上高

当期の全社売上高は 215,012 千円、前年度比で 14 千円の減収でした。

期初予算比は 0.8%増、金額で 1,857 千円増収でした。下記に事業別、業務別売上高を記します。

1, 受託事業

1-1 逗子市

【業務別売上】

(税抜き：単位 千円)

業務	33 期実績 (A)	32 期実績 (B)	差異 (A-B)	備考
※福祉バス	12,003	11,633	+370	微増
※ワクチンバス	-	1,899	△1,899	33 期は該当なし
公園・ハイキングコース	8,879	8,655	+223	微増
駐輪駐車場 (4ヶ所)	-	24,188	△24,188	33 期は民間受託へ全面移行
※登下校児童交通整理 (久木小・小坪小)	1,535	1,491	+43	微増
※学校開放 (久木小)	2,533	2,552	△18	微減
容器包装プラスチック選別	24,033	22,445	+1,588	時間外勤務増加
池子の森自然公園管理	2,956	-	+2,956	新規受注
小学校水泳学習交通誘導	599	-	+599	新規受注
その他受託業務 (広報板掲示・ 自転車保管場所・屋外広告対策)	3,348	3,255	+93	微増
計	55,889	76,121	△20,231	—

※を付した業務は出来高で売上高が変動。

1-2 公益財団法人自転車駐車場整備センター

【業務別売上】

(税抜き：単位 千円)

業務	33 期実績 (B)	32 期実績 (A)	差異 (A-B)	備考
駐輪駐車場管理 (4ヶ所)	43,032	24,858	+18,173	32 期は下半期該当
計	43,032	24,858	+18,173	-

2, 指定管理事業：逗子市

【売上明細】

(税抜き：単位 千円)

市民交流センター	33 期実績 (A)	32 期実績 (A)	差異 (A-B)	備考
指定管理収入	40,263	37,727	+2,536	指定管理料収入減額解除による増収
会議室使用料収入	5,226	5,527	△301	利用の減少
プール利用料収入 (一般利用)	12,979	12,174	+805	利用の増加
小学校プール利用料	3,098	2,182	+916	料金改定による増収
プーチカ (水泳スクール)	473	544	△70	スクール受講生の減少
その他収入	2,377	1,990	+387	市民交流センター利用者増加による増収
計	64,418	60,145	+4,273	-

3, 自主事業：民間

【業種別売上】

(税抜き：単位 千円)

業務	33 期実績 (A)	32 期実績 (A)	差異 (A-B)	備考
ガーデンケア	21,889	23,203	△1,314	個人宅向け草刈り・樹木剪定
医療機関業務 (2ヶ所)	8748	10,055	△1,306	33 期は業務数の減少
ビジネスサポート	18,585	18,416	+168	法人向け派遣業務ほか微増

ホームサポート	2,267	1,822	+444	市民向け清掃、空き家管理ほか微増
その他	181	403	△222	スポット案件減少
計	51,672	53,901	△2,229	—

・売上総利益（粗利益）

当期の全社売上総利益（粗利益）は18,693千円で前年度比3,691千円増益、期初予算比では779千円の増益となりました。

- ・受託事業（逗子市・民間の合計）の売上総利益は原価削減努力が功を奏し、駐輪駐車場業務の規模が縮小したものの逗子市からの新規受注が増えた事もあり、前年度実績比1,148千円の増益および期初予算比で2,001千円増益でした。
- ・指定管理事業は市の指定管理料減額措置の解除並びに市内小学校プール利用料の改定等により前年度実績比で1,680千円の増益でしたが、期初予算比では1,639千円の減益となりました。

- ・自主事業は前年度実績比862千円増益、期初予算比で417千円増益になりました。ホームサポート・ビジネスサポートの利益は横ばいでした。医療機関向けは一部業務消滅のため減益でしたが、ガーデンケアの作業料金改定による増益が貢献しました。

・販売費および一般管理費：

19,946千円で前年度実績比949千円の増加でした。

・営業損失

営業損失は1,253千円で前年度実績比で2,742千円増益。期初予算比で1,167千円減益でした。

・営業外収益

営業外収益3,064千円は前年度比931千円の増益。

（当期の内訳）預金利息0.6千円、特定求職者雇用開発助成金1,850千円、披露山公園自動販売機収入619千円、安全衛生引当金戻入462千円、その他131千円。

前年度との主な差異は特定求職者雇用開発助成金1,200千円増加。安全衛生引当金戻入294千円減少。

・営業外費用

営業外費用1,387千円で前年度比446千円の増加。

（当期の内訳）安全衛生引当金繰入損925千円。安全衛生費用462千円。）、前年度との主な差異は安全衛生引当金繰入損925千円増加、安全衛生費用294千円減少。

・経常利益

経常利益423千円で前年度比3,227千円増益。期初予算比1,041千円減益。

・特別利益（3,105千円）

新事業開発準備金取崩益1,204千円。

市民貢献準備金取崩益1,901千円。

・特別損失（3,105千円）

新事業開発費償却 1,204千円。

市民貢献事業費償却1,901千円。

・ 税引前当期利益

423 千円は前年度比 3, 227 千円の増益。期初予算比 1, 041 千円減益。

・ 法人税、事業税および住民税等

200 千円で前年度と同額。

・ 当期純利益

当期純利益 223 千円は前年度比 3, 227 千円の増益。期初予算比 1, 041 千円減益。

【表 2】損益計算書（要約）

（税抜き 単位：千円）

	33 期実績	33 期期初予算	32 期実績
（売上高）			
・ 受託事業	(98, 921)	(98, 360)	(100, 979)
・ 指定管理事業	(64, 418)	(63, 380)	(60, 145)
・ 自主事業	(51, 672)	(51, 415)	(53, 901)
売上高合計	215, 012	213, 155	215, 026
売上総利益（粗利益）	18, 693	17, 914	15, 001
販売費および一般管理費	19, 946	18, 000	18, 997
営業損失	△1, 253	△86	△3, 995
営業外収益	3, 064	2, 900	2, 133
営業外費用	1, 387	1, 350	941
経常利益	423	1, 464	△2, 804
特別利益	3, 105	10, 098	3, 615
特別損失	3, 105	10, 098	3, 615
税引前当期利益	423	1, 464	△2, 804
法人税等	200	200	200
当期純利益	223	1, 264	△3, 004

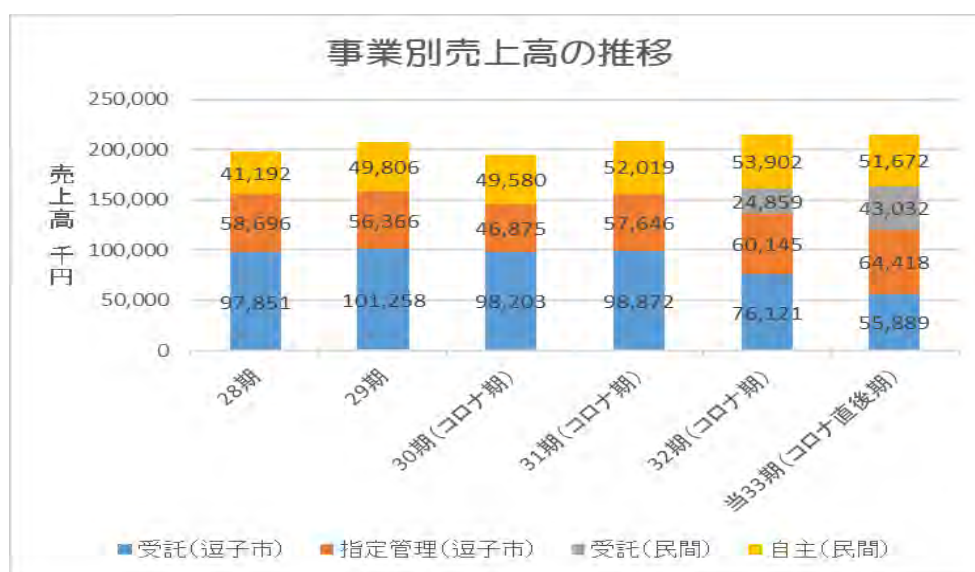
（注）（ ）は売上高の事業別内訳です。 △はマイナスを表示。

詳細については 7 ページ【表 3】「事業実績に関する事項」をご覧ください。

【表 3】 第33期 事業実績に関する事項				
業務		第33期売上高 (税抜き 千円)	利用者数等 (当期)	利用者数等 (前年度)
受託事業 (逗子市および民間)				
逗子市	福祉バス運行 (出来高)	12,003	福祉バス29,718人 (往復延べ)	福祉バス25,355人 (往復延べ)
	街区公園・ハイキングコース維持管理/ 高齢者センター他グリーンメンテナンス/小坪 保育園樹木剪定	8,879	75公園,4ハイキングコース春秋各1 回園内管理ほか	75公園,4ハイキングコース春秋 各1回園内管理ほか
	広報板掲示等業務	1,569	62ヶ所	62ヶ所
	自転車等保管場所	1,519	自転車 328台、バイク45台	自転車 292台、バイク20台
	登下校児童交通整理 (出来高)	1,535	小坪小学校、久木小学校	小坪小学校、久木小学校
	学校施設開放管理 (出来高)	2,533	16,254人 (久木小学校)	14,614人 (久木小学校)
	容ブラ処理業務	24,033	ベール1,302トン	ベール1,371トン
	屋外広告物対策事業	259	違反広告監視	違反広告監視
	池子の森自然公園緑地管理	2,956	入園者総数 30,115人	該当なし
	市内小学校水泳学習送迎マイク ロバス交通誘導	599	市内4小学校	該当なし
	逗子市受託合計	55,889	-	-
民間	清水橋南北駐輪駐車場	43,032	南・一時バイクおよび一時自動車: 28,774台	南・一時自動車18,113台
			南・定期自転車1,620台	南・定期自転車2,011台
			南・定期バイク 2,613台	南・定期バイク 3,115台
			北・一時自転車43,205台	北・一時自転車38,679台
			北・一時バイク 24,642台	北・一時バイク 41,497台
	JR逗子駅西東駐輪場		西・定期自転車4,044台	西・定期自転車2,778台
			西・定期バイク2,092台	西・定期バイク1,856台
			東・一時自転車53,792台	東・一時自転車48,915台
			東・一時バイク23,869台	東・一時バイク23,564台
	民間 (公益財団法人自転車駐車 場整備センター) 受託合計	43,032	-	-
	受託合計	98,921	-	-
指定管理者事業 (逗子市)				
	会議室・市民交流スペース等利 用者数	64,418	センター全体101,218人、	センター全体84,971人、
	プール利用者数		48,173人	45,696人
	指定管理合計		-	-
自主事業 (民間・個人)				
	ガーデンケア	21,889	575件	625件
	民間施設管理・清掃・当直	8,748	市内医療機関2ヶ所	市内医療機関2ヶ所
	ホーム&ビジネス・サポート	20,852	派遣・請負	派遣・請負
	その他	181	-	-
	自主合計	51,672	-	-
全社合計		215,012	-	-
披露山レストハウス運営損益		-	15千円 (利益)	△99千円 (損失)

(注) 披露山レストハウス売店は損益の表示になります。

(5) 事業損益の推移（6期分）



(6) 財政の状況

令和 6 年 3 月 31 日の貸借対照表。

【表 4】貸借対照表(要約)

(単位：千円)

		33 期	32 期
		令和 6 年 3 月 31 日	令和 5 年 3 月 31 日
資 産	現預金	77,572	80,767
	その他流動資産	11,672	11,240
	固定資産	1,748	818
	合計	90,993	92,827
負 債 資 本	流動負債	22,413	21,364
	固定負債	3,000	3,000
	資本金	10,400	10,400
	利益準備金	120	120
	新事業開発準備金	14,158	15,362
	市民貢献準備金	2,654	4,200
	その他利益剰余金	38,247	38,379
	合計	90,993	92,827

(7) 新事業開発の使用実績

当費用は新事業開発準備金を原資としており、事業期初予算は第 31 期株主総会（令和 4 年 6 月）で報告しております。

・新事業開発費用

事業名	実績（千円）	備考
警備業開発費用	1,204	事業投資費用
合計	1,204	-

(8) 市民貢献事業の使用実績

「市民貢献準備金」は逗子市および逗子市民への貢献を目的とする基金で市民貢献準備金を原資としており、事業期初予算は第 31 期株主総会（令和 4 年 6 月）で報告しております。

・市民貢献事業の内訳

事業名	実績（千円）	備考
空き家登録活用支援事業	1,502	空き家登録者向け支援と空き家利活用者向け支援の双方を行う。
ネットボックス等購入費補助金交付事業	398	ごみネットボックス 新規および更新に対する補助。
合計	1,901	-

2. 業務運営事項

- ・令和5年4月 逗子市等との間で令和5年度受託等の契約を締結
- ・令和5年5月 第32期 監査役監査の実施
- ・令和5年6月28日 第32期定時株主総会開催
- ・令和5年7月 「株式会社パブリックサービスの経営状況」を逗子市長へ提出
- ・令和5年6月以降 第33期取締役会6回開催

3. 会社が対処すべき課題

(1) 安全衛生の強化

安全で事故のない職場運営を行うため「指差呼称」の徹底をはじめ、業務の安全点検を継続的に実施します。新型コロナウイルス等の感染拡大防止に努めます。

(2) 顧客サービスの品質向上

接客マナーを良くすると共に顧客対応をしっかりと行いサービス品質向上に努めます。

(3) 市民貢献事業

逗子市および逗子市民の公共ニーズおよび暮らしの課題の解決に役立てるために市民貢献事業準備金を有効に活用します。

(4) 新規事業の開拓

「ホーム&ビジネス・サポート事業」は時代の要請に合ったビジネスの拡大を模索します。新しく開業した警備業は業務体制を固めて出来るだけ早期に民間からの受注をめざします。市から施設利用許可を得て運営する披露山レストハウスは小規模な環境整備を行い観光資源の価値を高める予定です。

(5) 雇用の促進

- ・当社で働く魅力を発信すると共に市民の認知度、好感度を高める活動を行いたいと思います。
- ・ホーム&ビジネス事業を展開させ、女性の雇用をさらに推進してまいります。

Ⅱ. 会社の概況

1. 会社概要（令和6年3月31日現在）

設立年月日	平成3年（1991年）8月26日
払込資本金	1,040万円
主な事業内容	公共施設管理業務、市内法人市民向け各種サービス業務等
社員の状況	130名（うち女性22名） 平均年齢68.9歳
主な事業所	
（登記本店）	〒249-0003 逗子市池子4丁目948番地
（逗子ビジネスオフィス）	〒249-0006 逗子市逗子5丁目4番33号 逗子会館2階
事業年度	4月1日から翌年の3月31日までの1年

2. 株式の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 発行済株式の総数 208 株 （1 株額面 5 万円）

(2) 株主および出資状況

株 主 名	持株数	出資比率
逗子市	106 株	50.96%
株式会社横浜銀行	10 株	4.81%
かながわ信用金庫	10 株	4.81%
湘南信用金庫	10 株	4.81%
逗子市商工会	5 株	2.40%
社会福祉法人逗子市社会福祉協議会	1 株	0.48%
市民株主	64 株	30.77%
その他	2 株	0.96%

3. 取締役および監査役（令和6年3月31日現在）

職 名 ・ 氏 名	主 な 役 職 名
代表取締役 稲垣 正	当社社長
取締役 柏村 淳	逗子市副市長
取締役 湊屋孝之	逗子市商工会顧問、鎌倉法人会参与
取締役 玄 真琴	逗子葉山経済新聞編集長
取締役 岸原 晃	社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会会長
監査役 柿本弘正	株式会社横浜銀行逗子支店長

Ⅲ. 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当ありません。

Ⅳ 業務の適正を確保するための体制の運用状況（参考）

1. コーポレートガバナンス

当社は取締役会設置会社であり、取締役会を年に6回開催しております。

2. コンプライアンス

法令遵守は事業を遂行する上で当然の事であり厳守してまいります。

「(株)パブリックサービス役職員行動規範（平成26年12月施行）」を制定しております。

3. リスク管理

万が一の事故に備えて必要十分な保険を付保しております。

想定される諸リスクに対して適正な対応がとれるように更なる対策を講じてまいります。

4. 内部統制

内部統制が機能する組織および業務プロセスを構築してまいります。

[事業一覧]

受託事業	委託者：逗子市
逗子市内各所と高齢者センターを結ぶ福祉バスの運行。	
市内街区公園（75ヶ所）およびハイキングコース（二子山自然遊歩道、神武寺鷹取山、ふれあいロード、披露山浪子不動）4ルートの維持管理	
高齢者センター・グリーンメンテナンス。小坪保育園樹木剪定 園内管理	
広報板掲示等業務	
自転車等保管場所管理	
登下校児童交通整理配置（小坪小学校・久木小学校）	
放課後・土曜日・日曜日などの学校施設開放管理業務（久木小）	
環境クリーンセンターでの容器プラスチック選別業務	
屋外広告物対策事業	
池子の森自然公園緑地管理業務（新規）	
市内小学校水泳学習送迎マイクロバス交通誘導業務（新規）	

受託事業	委託者：公益財団法人自転車駐車場整備センター
駐輪駐車場（清水橋南北駐輪駐車場、JR 逗子駅西東駐輪場）の管理運営 （令和4年10月1日 逗子市より現委託者に経営主体変更）	

指定管理	委託者：逗子市
逗子文化プラザ市民交流センターを指定管理者として運営管理する事業	

自主事業	委託者：民間
ガーデニング（市内ご家庭や集合住宅のお庭の手入れ）	
市内特別養護老人ホーム庭園管理	
医療センターの清掃・当直業務ほか	
市内クリニックの当直業務	
ホーム&ビジネス・サポート事業 （人材派遣）大型スーパー、市内私立中高等学校、市内高齢者介護施設 ほか （請負）個人宅、シェアハウスの掃除、片付けなど	
警備業（第1号警備：施設警備）（第2号警備：雑踏警備・交通誘導）	

自主事業	（逗子市から施設貸与）
披露山レストハウス売店運営業務	

（注）事業報告、計算書類および株主資本等変動計算書はすべて消費税額抜きで表示。
金額は表示単位未満の端数を切り捨て、パーセンテージは表示単位未満の数字を
四捨五入して表示しております。
数字の前に付く△はマイナスを意味します。

第33期 貸借対照表
(令和6年3月31日現在)

(単位:千円)

項目	金額	項目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金	363	未払費用	15,149
預金	77,208	未払法人税等	200
売掛金	8,709	未払消費税等	3,696
立替金	103	預り金	566
仮払金	1,588	安全衛生引当金	2,801
前払費用	742		
未収入金	528		
流動資産合計	89,245	流動負債合計	22,413
II 固定資産		II 固定負債	
		修繕引当金	3,000
(有形固定資産)		固定負債合計	3,000
建物	0	負債合計	25,413
構築物	0	(純資産の部)	
車両運搬具	1,382	I 株主資本	
工具器具備品	270	資本金	10,400
一括償却資産	79	利益剰余金	
(投資その他の資産)		利益準備金	120
敷金	16	その他利益剰余金	55,060
		新事業開発準備金	14,158
		市民貢献準備金	2,654
		繰越利益剰余金	38,247
固定資産合計	1,748	純資産合計	65,580
資産合計	90,993	負債・純資産合計	90,993

(注)有形固定資産の減価償却累計額 : 13,681千円

第33期損益計算書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		
受託事業	98,921	
指定管理事業	64,418	
自主事業	51,672	
売上高合計		215,012
売上原価		196,319
売上総利益		18,693
販売費及び一般管理費		19,946
営業損失		△1,253
営業外収益		
受取利息	0	
安全衛生引当金戻入益	462	
特定求職者雇用開発助成金	1,850	
その他収益	751	
営業外収益合計		3,064
営業外費用		
安全衛生費用	462	
安全衛生引当金繰入損	925	
営業外費用合計		1,387
経常利益		423
特別利益		
新事業開発準備金取崩益	1,204	
市民貢献準備金取崩益	1,901	
特別利益合計		3,105
特別損失		
新事業開発費償却	1,204	
市民貢献準備金償却	1,901	
特別損失合計		3,105
税引前当期利益		423
法人税、住民税及び事業税		200
当期純利益		223

第33期株主資本等変動計算書
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本						純資産合計	
	資本金	利益剰余金				株主資本合計		
		利益準備金	その他利益剰余金					利益剰余金 合計
			新事業開発準備金	市民貢献準備金	繰越利益剰余金			
当期首残高	10,400	120	15,362	4,200	38,379	58,062	68,462	68,462
当期中の変動額								
新事業開発準備金取崩益			△1,204			△1,204	△1,204	△1,204
市民貢献準備金繰入				355	△355	0	0	0
市民貢献準備金取崩益				△1,901		△1,901	△1,901	△1,901
当期純利益					223	223	223	223
当期変動額合計	－	－	△1,204	△1,546	△131	△2,882	△2,882	△2,882
当期末残高	10,400	120	14,158	2,654	38,247	55,180	65,580	65,580

(附属明細書)

財 産 目 録

(令和6年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 明 細	金 額	説 明
現金	363	現金
預金	77,208	普通預金、定期預金
売掛金	8,709	逗子市受託分、(株)イトーヨーカ堂、逗葉地域医療センター、逗子桜山クリニック、ビジネスサポートその他顧客、ガーデンケア顧客ほか
立替金	103	社員立替金ほか
仮払金	1,588	駐輪駐車場、自転車保管場所 つり銭
前払費用	742	損害保険保険料、自動車リサイクル預託金ほか
未収入金	528	市民交流センター利用料ほか
建物	0	-
構築物	0	-
車両運搬具	1,382	軽自動車11台、バイク2台
工具器具備品	270	パソコン2、脚立1、プールロッカー1、物置2
一括償却資産	79	パソコン1
敷金	16	駐車場1台敷金
合 計	90,993	-

負 債 の 明 細	金 額	説 明
未払費用	15,149	従業員給与(令和6年3月分)、仕入債務
未払法人税等	200	逗子市、神奈川県
未払消費税等	3,696	鎌倉税務署
預り金	566	源泉税等、駐輪場ICカードほか
安全衛生引当金	2,801	安全衛生費充当用
修繕引当金	3,000	修繕費充当用
合計	24,413	-

注記表

この書類記載の計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」にしたがって作成されています。

(1) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1-1) 資産の評価基準および評価方法

個別原価法によります。

(1-2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法を採用しています。

無形固定資産 定額法を採用しています。

(1-3) 収益および費用の計上基準

収益は実現主義(販売基準)・費用は発生主義によります。

(1-4) 計算書類作成のための重要な事項

① リース取引の処理方法

リース取引はありません。

② 消費税などの会計処理

税抜方式によります。

(2) 貸借対照表に関する注記

(2-1) 保証債務などの金額

当該債権債務の金額はありません。

(2-2) 取締役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

(2-3) 監査役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

(3) 株主資本等変動計算書に関する注記

(3-1) 発行済み株式の数

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 : 13,681千円

前期末株式数	208株
--------	------

当期末株式数	208株
--------	------

監査報告書

令和6年5月10日

株式会社 パブリックサービス

代表取締役 稲垣 正 殿

監査役 柿本 弘正 ⑩

私、監査役は令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第33期事業年度における事業報告、計算書類(貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書)及び付属明細書を監査した結果について、次のとおり報告します。

1. 事業報告は、法令及び定款に従い会社の状況を正しく報告しているものと認める。
2. 会計帳簿は、正しく記載されており計算書類の記載と合致していることを認める。
3. 計算書類は、計算書類規則に適合し法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
4. 付属明細書は、前掲規則に基づき正しく記載されており、会計帳簿及び計算書類の記載と合致していることを認める。
5. 業務の遂行に関し、法令若しくは定款に違反する重大な事実はなく公正であることを認める。

以 上

第 34 期 事業計画

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで)

(1) 第 34 期事業概要

第 34 期は受託事業の売上維持および指定管理事業の売上拡大に努めると共に自主事業並びに新規開発事業の伸長を図る年度と位置付け取り組む所存です。第 34 期も安全第一、顧客サービス向上、健康管理の徹底を通して社員が明るく生き生き働ける職場環境を構築していきたいと思っております。

【受託事業（逗子市）】

- ・ 容器包装プラスチック選別業務は葉山町の受入れ 5 年目で気を引き締めて業務を遂行してまいります。屋外施設故に安全第一、災害事故ゼロを目標とし熱中症対策にも一層取り組みます。
- ・ 福祉バスは利用者の更なる増加が想定されます。引き続き無事故の安全運行を行います。
- ・ 学校開放業務は久木小学校の開放業務および逗子小学校調整会です。
- ・ 登下校児童交通整理は小坪小、久木小の 2 校で実施。引き続き児童の安全を守ってまいります。
- ・ 池子の森自然公園緑地エリア管理業務は 2 年目に入り、来園者に飲ばれる業務運営を構築します。
- ・ 街区公園ハイキングコース管理、自転車保管場所、広報板掲示、その他の受注業務は同じく安全第一で業務を遂行します。

【受託事業（民間）】

駐輪駐車場管理業務（公益財団法人自転車駐車場整備センター）は令和 5 年度に駐輪場機械設備が導入され施設の自動化・省力化が進みましたが心の通った管理運営を心掛けてまいります。

【指定管理事業（逗子市）】

指定管理業務（市民交流センター）はⅡ期最終年の 5 年目に入ります。Ⅲ期指定管理の獲得につながる付加価値の高いセンター運営に努めてまいります。交流センター地下プールは市立小学校利用 3 年目に入り、児童の安全を最優先とする適切な現場対応を行います。

【自主事業】

- ・ ホーム＆ビジネスの内、ホーム部門は収益性の改善を図りつつ市民のニーズを捉えるため市場拡大に努めます。ビジネス部門は顧客企業からの信頼を高め人材派遣業務等の定着化に務めます。
- ・ ガーデンケア（個人宅庭の草刈り・樹木の剪定）は事故の防止、熱中症対策を含む健康管理に注力して安定的な業務体制を構築します。年式の古い車両の買い換えを進めます。
- ・ 民間医療施設管理は契約先の満足を高めるきめの細かい業務を遂行します。
- ・ 警備業は基礎固めを行いつつ、民間向けの新規受注の開拓を進めます。

(2) 第 34 期事業予算

・ 予算内訳は 3 部構成になっております。

I：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算

II：新事業開発に関する予算

III：市民貢献事業に関する予算

I：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算

【全社売上高】

第 34 期全社売上高は 210,780 千円を見込みます。第 33 期実績比で 4,232 千円の減収。

以下、内訳

【受託事業（逗子市）】

受託事業（逗子市）の売上予算は 58,998 千円、第 33 期実績比で 3,109 千円の増収を見込む。

【受託事業（民間）】

受託事業（公益財団法人自転車整備センター）の売上予算は 35,640 千円、第 33 期実績比で 7,392 千円の減収を見込む。減収の理由は駐輪場配置人員減少による契約額の減額。

【指定管理事業（逗子市）】

指定管理（市民交流センター）売上予算は 65,560 千円、前年度比 1,144 千円の増収を見込む。増収の主たる理由は市内小学校プール利用料改定によるものです。

【自主事業】

自主事業売上予算は 50,582 千円、前年度比 1,090 千円の減収を見込む。ホーム&ビジネスおよびガーデンケア双方で若干の減収と見えています。

【売上総利益（粗利益）】19,228 千円。全社売上高は前年度比で減少するものの、受託事業の利益率の好転、指定管理事業は黒字化を想定しているので全社の売上総利益は 535 千円の改善を見込みます。

【販売費及び一般管理費】19,000 千円。

【営業利益】228 千円。

【営業外収益】合計 2,391 千円。

内訳：安全衛生引当金戻入 500 千円、特定休職者雇用開発助成金 1,250 千円、自販機収入 640 千円。

その他 1 千円。

【営業外費用】合計 1,125 千円。

内訳：安全衛生費用 500 千円、安全衛生引当金繰入損 625 千円。

【経常利益】1,494 千円。

【特別利益】合計 7,705 千円

新事業開発準備金取崩益 5,205 千円。市民貢献準備金取崩益 2,500 千円。

【特別損失】合計 7,705 千円

新事業開発費償却 5,205 千円。市民貢献準備金償却 2,500 千円。

【法人税、住民税及び事業税】200 千円。

【当期純利益】1,294 千円。

Ⅱ：新事業開発に関する予算

警備業は前年度からの継続案件で披露山レストハウス運営（逗子市の施設管理許可更新：令和6年4月1日）は新規事業開発案件です。また、その他の新規事業開発の好機に備えるため予備費を加えております。尚、全ての投資額は将来収益による回収を目指します。

新規事業名	概算金額（千円）	経費内訳
第34期 新事業開発予算	5,205	警備業 1,205 千円。 （法定研修費ほか）
		披露山レストハウス 1,500 千円。（初期投資＝什器・備品、修繕費等）
		予備費 2,500 千円.
合計	5,205	－

※警備業は32期の取締役会で予算2,000千円の承認を得ており第33期の使用分を差し引いた残額705千円に34期分500千円を加えた金額です。

Ⅲ：市民貢献事業に関する予算

第34期の市民貢献事業は予算総額2,500千円で総額は下記3案件の合計とします。

① 空き家活用支援事業。② ネットボックス等購入費補助金交付事業。③ その他。

事業名	金額（千円）	内訳
第34期 市民貢献事業予算	2,500	空き家活用支援事業 1,000 千円 （上限額）
		ネットボックス等購入費補助金 交付事業 1,000 千円（上限額）
		その他（金額および用途は未定）
合計	2,500	上記案件を総額内で運用

第 34 期 事業予算（予算損益計算書）
（期間：令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日）

（税抜き 単位：千円）

	項目	第 34 期予算	第 33 期実績 (参考)
予算 I	(売 上)		
	(逗子市:受託事業収入)	58,998	55,889
	(民間:受託事業収入)	35,640	43,032
	(指定管理収入)	65,560	64,416
	(自主事業収入)	50,582	51,672
	売上高合計	210,780	215,012
	売上総利益	19,228	18,693
	販売費及び一般管理費	19,000	19,946
	営業利益(△は営業損失)	228	△1,253
	(営業外収益)		
	受取利息	1	0
	安全衛生引当金戻入	500	462
	特定求職者雇用開発助成金	1,250	1,850
	自販機収入	640	619
	雑収入	0	131
	合計	2,391	3,064
	(営業外費用)		
	安全衛生費用	500	462
	安全衛生引当金繰入	625	925
	雑損失	0	0
	合計	1,125	1,387
	経常利益	1,494	423
予算 II・III	(特別利益)		
	新事業開発準備金取崩益	5,205	1,204
	市民貢献準備金取崩益	2,500	1,901
	合計	7,705	3,105
	(特別損失)		
	新事業開発費償却	5,205	1,204
	市民貢献準備金償却	2,500	1,901
	合計	7,705	3,105
	税引前当期利益	1,494	423
	法人税等	200	200
	当期純利益	1,294	223

※ △の金額はマイナスを表します。

※ 第 33 期実績は千円未満切り捨てにしています。